

発行：ボーイスカウト石川県連盟  
石川県金沢市平和町 1-3-1  
石川県平和町庁舎内  
発行責任者：野田 政弘  
編集責任者：宮東 剛文  
令和 5 年 7 月 11 日発行

## 令和5年度 年次総会



令和5年5月14日、令和5年度年次総会が小松市市民センターにて開催されました。県内21ヶ団の団代表議員、県連盟役員が出席し、来賓として衆議院議員佐々木紀氏、参議院議員宮本周司氏、小松市教育長石黒和彦氏のご臨席をいただきました。佐々木議員からは、春の叙勲にて旭日単光章を受章されました野田理事長へのお祝いのお言葉もありました。開式後、藤井義弘氏が副連盟長に推戴されました。その後は令和5年度表彰式、会議へと続きました。

会議では第1号議案 令和4年度県連盟事業報告、第2号議案 令和4年度収支決算報告、第3号議案 石川キャンポリー決算(案) 審議、第4号議案 令和5年度県連盟事業計画(案) 審議、第5号議案 令和5年度県連盟事業予算(案) 審議、第6号議案 県連盟役員の選出について審議され、いずれも賛成多数で承認されました。

## ～令和5年度表彰～

## &lt;日本連盟&gt;

たか章 福島 日出夫

かっこう章 稲葉 豊

組織拡充顕彰優良団 Aランク 金沢第11団

## 隊褒章級

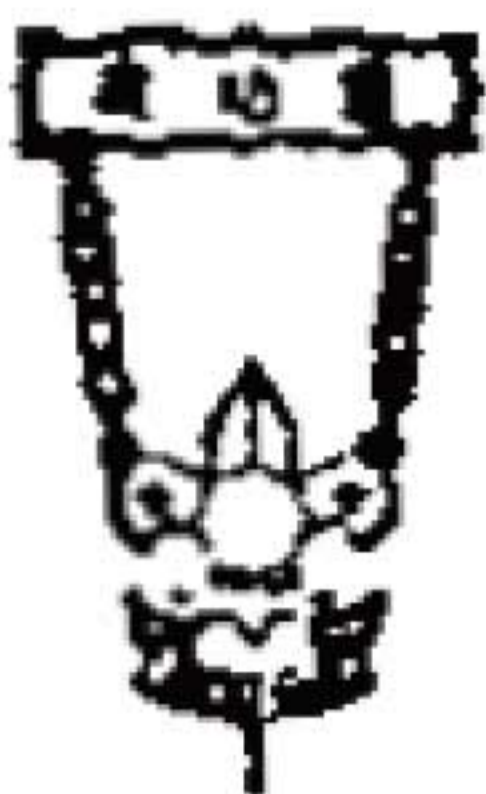
25年級 金沢 第10団ベンチャー隊  
松任 第1団ビーバー隊  
30年級 金沢 第6団ローバー隊  
45年級 金沢 第21団ローバー隊  
50年級 加賀 第3団カブ隊  
55年級 金沢 第21団ボーイ隊  
金沢 第21団カブ隊  
野々市第1団ボーイ隊  
川北 第1団カブ隊  
川北 第1団ボーイ隊  
60年級 津幡 第1団カブ隊  
65年級 加賀 第3団ボーイ隊

## 特別年功章

5年章 金井義幸、東啓秀(金沢1)  
松本明子、竹内巧己(金沢11)  
富田昌子、今村成宏、西村信宏、  
石料優成(金沢17)  
源田恵理(津幡1)  
10年章 河端亮介、浅川佳祐、坂本宮美  
(金沢17)  
15年章 丸山拓郎、藤田智志、乙丸唯  
(金沢1)  
安田裕司(金沢11)  
20年章 田村有司、上田芳弘(金沢17)  
東本晃典(津幡1)



<石川県連盟>



県連特別有功章

田中 崇光 加賀第3団 BS副長  
 橋本 良助 珠洲第1団 団委員長  
 大門 充 珠洲第1団 団委員  
 道下 恵美子 珠洲第1団 CS隊長

県連有功章

栗田 洋子 金沢第2団 RS隊長  
 杉屋 明美 金沢第2団 BVS隊長  
 朝倉 佳子 金沢第2団 CS副長  
 岩井 彩子 津幡第1団 団委員  
 山浦 直孝 川北第1団 BS隊長  
 山津 裕之 加賀第3団 BVS隊長  
 石村 峻進 加賀第3団 VS副長  
 下 吉晴 珠洲第1団 団委員

県連特別顕彰 くろゆり賞

山際 郁子 金沢第11団 育成会理事



議長の松任第1団 松田氏

第205回ボーイスカウト  
講習会



令和5年6月25日(日)、津幡町 津幡地域交流センターにて、第205回ボーイスカウト講習会が開催されました。主任講師は、ボーイスカウト日本連盟副リーダートレーナーの東本晃典氏、講師として金沢22団中西祐一氏が担当しました。今回参加した13名(津幡1団7名、金沢17団2名、金沢10団1名、金沢6団2名、松任1団1名)は、初めは多少緊張した面持ちでしたが、ゲームをしたり、ボーイスカウトの班集会やハイキングを模擬体験したり、グループディスカッションをしたりしていく中で、次第に打ち解け合い、和気あいあいとした雰囲気の中で講習会の課程を修了しました。

参加者からは、「楽しくボーイスカウトについて学ぶことができました」、「今回参加できなかった保護者にも是非とも勧めたいと思います」などの声があがりました。

ボーイスカウト講習会は、スカウト運動における指導者訓練の導入として広く一般の方々に、スカウト活動の内容をわかりやすく伝え、スカウト教育の原理と基本的な方法を、正しく知っていただくことを目的として毎年開催されています。18歳以上のスカウトや、保護者の方で未受講の方がいましたら是非とも参加をお願いいたします。次回は10月の開催予定です。





## 団の紹介ページ

## 金沢第17団

～ウィズコロナの活動開始～



金沢第17団は、1961年（昭和36年）発団、今年で63年目を迎えて益々元気な活動をしたいと思っています。金沢駅西（大徳、金石、栗崎地区など）を中心に、約90名の登録人員を誇る県内でも大きな組織です。大徳公民館を活動の拠点として、各隊の隊長をはじめベテランと若手リーダーの奉仕により、地域からも「スカウト運動」として認められ、これから登録人員もさらに増やしたいと意気込みを新たにしています。

令和5年度も入隊式から活動を開始しました。本年度は、3年以上に渡って制限を受けた活動から、ウィズコロナの社会情勢に合わせて元気な活動を取り戻していきます。キャンプはもちろん、恒例の団・育成会バザーやオーバーナイトハイクなどを盛大に実施する計画です。

入隊式に先立ち、春休みの終盤にはボーイ隊の冒険旅行が実施できました。春の旅行客の増加によって宿泊先の予約に苦戦しながらも旅行計画を練って、1泊2日で滋賀県長浜や愛知県犬山などを散策して楽しむことができました。



冒険旅行（外国人旅行者と）

## 金沢第10団



当団は、1950年（昭和25年）に加賀藩祖前田利家をまつる尾山神社を拠点として、発団した70年の歴史のある団です。金沢市内をはじめ、野々市市、小松市からスカウトが入団し、尾山神社に設けられたスカウトハウスを中心に活動しています。

「三指の誓い」とボーイスカウト日本連盟初代総長・後藤新平がスカウトに残した自治の三訣「人のお世話にならぬよう、人のお世話をすよう、そしてむくいを求めぬよう」をよりどころとし、健全な青少年、良き社会人を目指します。特徴のある活動は、5年毎に全国の神社スカウトが伊勢神宮に集い伊勢拝りを行います。





ボーイ隊によるかがり火奉仕は尾山まつり（百万石まつり）の行事の一環とそして尾山神社境内で、また初詣の大晦日から元旦にかけて、尾山神社、春日神社の二社において毎年行っています。日々の活動としましては、キャンプ、登山等野外活動を通じて自然に親しみ、タウンハイク、街頭での緑の募金、救急法等を通して社会性・自律性を身につけます。

これらのスカウト活動は遊びやゲームを通して、年代ごとに活動内容は異なりますが、仲良く楽しくの基本は変わりません。指導者は、老若男女の多彩な顔ぶれで神職も指導者として参加する場合もあり、時には保護者も参加して楽しく活動しています。



## スカウトボイス原稿募集

スカウトボイスは、石川県連盟の動きと所属のスカウトの声を幅広くお届けする情報誌です。皆様からの、感動した、楽しかった、苦しかった、友情輪が広がった、等々のエピソードに写真を添えてお寄せください。手書きの原稿も受け付けています。スキャナー取り込みデータまたは原稿をデジカメやスマホで写してボーイスカウト石川県連盟事務局までお送りください。

団の活動紹介もします。我こそはという意気込みのある団は写真を添えて投稿お願いいたします。

## BP Voice

『自分のことは自分でする勉強』

文化的な国で育った人たちは、大草原や森の中に行き、自分のことを自分でする訓練を何も受けていないのが現実だ。その結果、この人たちが大草原や森などの未開の土地に行くと、少年時代にキャンプで自分のことは自分でする勉強をした人と違い、長い間何もすることができないので、多くの困難や苦しみを味わわなければならない。

この人たちは、全くの初心者にすぎないのだ。

この人たちは、一度も火をおこしたり、炊事したりする必要がなかった。— 誰かがしてくれたからだ。家では、水が欲しければ水道の栓をひねりさえすればよかった— だから、不毛の地で水が欲しくなっても、草や繁みの様子を見るとか、砂地を湿り気が見つかるまでかき掘ってみるとかして水を探す知恵はでない。道に迷ったり時間がわからなくなったりしたら、だれかに聞きさえすればよかった。いつでも住む家があり、寝るためにはベッドがあった。今までそういうものを、自分で作らなければならないこともなかったし、靴や衣類を自分で作ったり、修理したりする必要もなかった。

それだから、初心者はキャンプの不便をこぼすのだ。キャンプ生活は、そのやり方を理解しているスカウトには少しも不便ではない。いろいろのちょっとした工夫で、快適にする方法を知っているし、文化生活とは違いがあるからこそ、いっそう楽しむことができるのだ。自分の要求を自分で満たすことを全然知らない一般の人に比べれば、スカウトは都市にいる時でもずっとたくさんの方が自分でできる。スカウトがキャンプできるように、いろいろのことを自分でできる人なら、文明社会に出てきても、どんな仕事でもこなせるから、就職もたいへんしやすい。

（スカウティングフォアボーイズ 第Ⅱ章 「旅」より）

